

第48回 九州地区子ども会・ジュニア・リーダーくまもと大会報告

令和4年8月11日（木）から13日（土）、熊本県立あしきた青少年の家で、3年ぶりに九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会が行われました。熊本市からはジュニア・リーダー9人、引率としてシニア・リーダー2人、市子協役員・事務局から3人の計14人が参加しました。

九州各県（指定都市）から160人ほどの参加予定でしたが、コロナ感染の急拡大により、宮崎県、鹿児島県と北九州市が急きょ不参加となり、約130人が参加して開催されました。

コロナ禍の中であり、参加者は2週間前から及び大会当日毎日健康観察カードに体温や健康状態を記入して、本部に提出する必要がありました。また、参加前、参加中毎日抗原検査キットでコロナ感染の有無を検査し、その他活動中も密を避けたり、消毒を徹底したり、宿泊棟の定員も少なくしたりして、感染予防が徹底されていました。さらに、朝はスポーツドリンク、昼はお茶のペットボトルの配布があり、熱中症対策にも配慮されていた結果、コロナ感染や熱中症は発生せず無事終了しました。



《 大会の概要 》

大会テーマ 「 みんな笑顔にするモン 」

- 1. 目的** 九州各県（市）・各地域で活動しているジュニア・リーダーが集い、各地域における活動の情報を交換し合い、新型コロナウイルス感染対策を徹底した中での体験活動を通じて人間力の向上に努め、少年団体活動及び地域活動等の振興を図る
- 2. 主催** 全国子ども会連合会・九州地区子ども会育成連絡協議会
- 3. 主管** 熊本県子ども会連合会
- 4. 参加者** ジュニア・、リーダー（中・高生）、指導者・育成者・引率者（15人以内）
- 5. 活動内容**



【1日目】

- 開会式：・主催者あいさつ・来賓祝辞・プロジェクトチーム長挨拶・スタッフ紹介
- 活動①「カタルタ」：みんな仲良く打ち解けるようにアイスブレイクの時間
- 活動②「コロナKYT」：コロナ禍の活動をKYT方式で学習



発表



○活動③「県紹介 part 1」 各県（市）の特色紹介、自県（市）のジュニアの魅力を紹介

- つどいの広場での part 1 では熊本市が1 番目であり、まだ少し明るいうちに紹介できたので、他県の人にも写真がよく見えて、十分わかるように紹介が出来た。
- 熊本市の特色として、スイカや馬肉（馬刺し） 太平燕などの食べ物や、地下水100%の上水道、熊本城、くまモンスクエア、ワンピースの像や動物、芸能人などの大きな写真を準備し、メンバーが一人ずつ自己紹介と共に、一つの写真を提示して特色を紹介した。その間、他の者はサンバおてもやんの曲に合わせてその場で踊り続けた。
- 他県の参加者には熊本市から貰った火の国まつりのうちわを全員に事前に配布しておいた。メンバーの動作のまねをしてその場で踊りながら紹介を聞いてもらった。
- 屋外とは言え暑さが厳しい時期であり、うちわが大変役立った。法被で夏祭りの気分で、和やかな雰囲気だった。



《 サンバおてもやんの曲にのって 1人ずつ熊本市の特徴や市JLを紹介 》

【2日目】

○活動④「海洋体験」(ペーロン) 1時間30分

○活動⑤「三角灯籠制作」 1時間

- 活動④と⑤を2グループに分けて行われ、JLは効率よく2つの体験が出来た。





ペーロン

三角灯籠



- 活動⑥「講演」 「再起可能～言葉でつながる心の絆～」 講師 テレビ局アナウンサー
- 活動⑦ 「県紹介 part 2」 各県の特徴紹介、自県のジュニアの魅力を紹介
- 活動⑧ 「三角灯籠の集い」：日中制作した三角灯籠にあかりを灯し、灯籠を囲い語り合う

【3日目】

○活動⑨- 1 「座学～まとめ学習」：2日間の活動を通して学習したことを振り返り、これからの子ども会活動にどの様に取り組んでいきたいか、県（市）毎に考えをまとめる

●熊本市：レク、運営、講演、JLとしての自覚「、今後の活かし方→指定都市大会へ など

○活動⑨- 2 【座学～報告】：前活動でまとめた内容を県（市）毎に発表



みんなで意見
を出し合い、
表にまとめて
発表



○閉会式：・主催者講評・プロジェクトチーム長挨拶・大会旗引き継ぎセレモニー



●3日間の研修は大変有意義でした。

●JLも大きく成長しました。



跳べ！

青春！

力の限り！！

